

生麦中だより

令和2年(2020) 5月 臨時号

「成熟した職場には笑顔がある。」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>

皆さんとの笑顔の再会に向け、職員一同、準備をしています。

感染症拡大の終息を願いながら、学校で、皆さんを待っています。

生麦中学校 職員一同

「主体性」～臨時休校が続く中で～

校長 山口 毅

生麦中学校での楽しい時間を心待ちしている生徒たちを想うと、少しでも早く学校を再開したいと願うばかりです。しかしながら、全国的な感染拡大等の関係から、市内では、5月31日(日曜日)まで一斉臨時休業の措置を延長することになりました。また、保護者の皆様におかれましては、家庭学習のご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。

5月連休中に緊急速報メールが3回届きました。県知事緊急メッセージ1回と緊急地震速報が2回届きました。着信音の大きさと、夜中のメール着信に驚いたのは、私だけではなかったのではないのでしょうか。全国的な感染症拡大防止の中で、地震発生が懸念される状況は緊張を増すばかりか、我々の生活に大きな負担となると強く感じました。

大学の先生が子ども向けに行った防災の確認で、「一人で海辺の家にあります。大きな地震が起こりました。あなたは、どうしますか」という質問をしました。「一人でも高台に行く」「家で家族を待つ」「何もしない」という選択肢を示すと、全員が「一人でも高台に行く」と答えたそうです。しかし、実際に自分が行動できるかは、別だと思えます。もう少し家族を待ってみよう、大雨が降っている、ペットがいる……。それでも一人で高台に避難しなければならぬ。そのような行動をとることができるよう生徒を育成するのは、学校が担う役割だと考えています。

私たちの防災の考え方は、科学的な研究や省庁の施策を中心に学んでいたと思います。しかしながら、身に危険を感じる可能性があっても、それでも避難しない人がいるのが現実です。

そう考えたとき、従来の防災情報提供の仕方では無理で、知識ばかりでも、危ない、危ないと脅すような提供でもなく、「主体性」を持ってもらう防災を行う必要があるのではないかと思います。

つまり、自分にとって大切なものは何かということに気づくことが、防災の核になると思うのです。「あなたにとって、大切なものは何」ということを考えることが重要だと感じます。

世界的な感染症拡大の中、アメリカ・ニューヨーク州クオモ知事が4月23日、知事宛にきた手紙を紹介しました。70歳を超えた男性からの手紙です。この国を襲う大災害で、危機に瀕している国を前に、男性は元農家で妻と二人で暮らし、妻は糖尿病を患い、肺もひとつしか機能しない状態であるという。妻にとって、今の状況は恐れと感じられる。男性は、封筒にマスクひとつを同封してきた。農家時代から使用していたマスクのうち、未使用の専用マスクをひとつ送ってきた。男性は、知事にこのマスクを知り合いの看護師か医師に渡してほしいとお願いした。自分の家族のために4つ持っておきますと告げている。5つあるマスクうち、ひとつをニューヨーク(医師と看護師)のために送ってくれたとクオモ知事は、男性に対し勇気、寛容、愛があると感謝の言葉を残しています。

千葉県では、小学校6年生男子児童が休校中に何か役に立てることはないかと、自分にできることを考えたといいます。自分が通院している歯科医院でフェイスシールドが不足していることを知り、絵を描くことは得意ではないけれど、図画工作は興味があることから、作成してみることにしたといいます。インターネットから作成の方法を調べ、費用はお年玉を貯めたお金から出したそうです。今までに50個(1つ200円の製作費)をフェイスシールドが必要な医院や事業所に寄付したといいます。

このお二人の行動は、「自分にとって大切なものは何か」ということにつながっていると強く感じます。「あなたにとって、大切なものは何」ということを考える。大切な命を守るためにどうするのか、大切な私たちが生きぬくためにどうするのか、そこを考えることが、最初の問いで、「一人でも高台に行く」となるのだと思います。

人任せではなく、自分で考え、自分の責任において自分で選択し、行動を起こす。

それが根底にあること、それが主体性なのかもしれません。

◆令和2年度「セクシャルハラスメント相談窓口」

生徒担当 養護教諭 米田さきえ

教職員担当 副校長 桑山 博

「学校生活等全般に関わる相談窓口」

生徒指導専任教諭 浅田 大

「学校カウンセラー」

徳永みちる (毎週火曜日：来校)

Tel 045-581-3490 (相談室直通)

*一人で悩まないで・・・*一人で抱え込まない・・・

◆生麦中学校教職員は、一緒に考え、相談を行います。

◆教育総合センターの一般教育相談も、セクシュアル・ハラスメント相談窓口として利用できます。

電話番号：671-3726 月～金 9：00～17：00

(祝日・振替休日を除く)

学習動画の配信・放送について

テレビ神奈川 (tvk) による放送につきましては、5月8日以降に、今まで配信していない動画を5月18日～22日までの期間に集約して配信する予定です。配信時間も「小学校1～3年生 9時～10時半」「小学校4～6年生 10時半～12時」「中学生 1時半～3時」と変わります。tvkの番組表はこれまでと同様にインターネット上に掲載されます。

URL:<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/ksodate->

[kyoiku/kyoiku/plankoho/kyouikukoho/200410dogahaishin.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/ksodate-kyoiku/kyoiku/plankoho/kyouikukoho/200410dogahaishin.html)

文部科学省 Web ページには「子供の学び応援サイト」

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

「目の前の人に優しさを向けることができる生徒であるために」

校長 山口 毅

皆さん、元気で生活していますか。

感染症拡大防止のための一斉臨時休校が長引いています。今は、未曾有の危機的状況で、皆さんの「命を守ることを」最優先に考えざるを得ません。今は家庭の中で、学年から出題された学習課題に取り組んでください。また、この厳しい学習状況での、保護者の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

3月から2か月間、皆さんと向き合うことができない先生方とは、授業再開時の授業の在り方や学校行事予定等について検討をしているところです。また、皆さんが家庭学習で取り組んだ課題をどのように学校での学習に結びつけていくかを各学年や各教科で確認をしています。ニュースや報道では、ネット環境を整え、オンライン授業を行っている映像等を目にします。現時点で、本校は、そのような環境にありますが、校内情報機器を整備し、映像と放送を今まで以上に活用できるようにしました。

学校には、先生がいて生徒(皆さん)がいる。先生と生徒が集い、友だち・仲間がいる。心を通わせ、絆を結び、優しさと厳しさを学び、人として成長する。学校は、単に勉強して、知識を蓄積するだけでなく、人としての「人間力」を培う場だと思えます。

残念ですが、5月に入っても、授業再開を見通すのは、難しい状況です。新型コロナウイルスは、人の身体をむしばむだけでなく、心をも侵していくとかと・・・私は強く感じています。

安心できない状況が不安を招き、不安が過ぎて、他の人への攻撃に向かう。そして、差別や偏見として、表れてくる。自分に対しての誇りや人間性にも影響を及ぼします。

だからこそ、「優しさ」が大切です。

身近な人、周りの人、目の前の人に「優しさ」を向けてください。

「優しさ」は、「強さ」だと言った先生がいます。その通りです。

家での役割を考え、取り組んでみる。弟さんや妹さんの面倒をみる。学年で出た課題等に結び付け食事をつくる。手紙を書く。こんな「優しさ」を試してみるのはどうでしょう。

「優しさ」はやがて自分にかえってきます。

今は、危機的状況です。困っている状況にいる人を直接助けることは難しいかもしれませんが、しかし、どんなに苦しんでいるのかを、思いやることはできると思えます。

時間は、たっぷりあります。目の前にいる人に「優しさ」を向ける時間をつくってください。

長い休校で皆さん自身が困ること、相談することがありましたら、学校に連絡をください。

皆さんとの笑顔の再会時に、「強く優しい生徒」であることを楽しみにしています。